

(市川市PTA連絡協議会研究大会報告書)

第2分科会 テーマ「中学・地域ぐるみの防犯」 司会 PTA連絡協議会理事（第六中）

<発表内容>

まずは、参加者の自己紹介をかねて、各学校の活動状況や問題点を発表してもらいました。

- ・防犯カメラの設置と必要性
- ・PTAの当番制で、声かけ運動の実施 → 人の言葉の重要性
- ・地域の人との関りと地域行事への参加 → 顔見知りになり、非行防止にもなる
- ・地域の清掃ボランティア（自校、母校の清掃・花火大会後の清掃）→ 大人が反面教師
- ・防犯パトロールの実施と問題点（子供の帰宅時間が遅い、多人数で広範囲に）→ 親父の会が必要
- ・個々の家庭で育てるのではなく、地域で育てる意識
- ・中学生になると加害者にもなりうる → 未然に防いであげる
- ・サイバー犯罪の急増（インターネット書き込みなどのイジメ）→ サイバー犯罪教室の実施
- ・きれいな町作りが防犯に繋がる
- ・特別支援学校の生徒が不審者に間違われる → 地域の方々に知ってもらう機会を増やす
- ・中学では、防犯活動をあまり考えていなかった → あらためて考えないといけない
- ・小さい頃から、家庭で思いやりと自分の責任を教育する→イジメなどをさせない

<単Pとして生かせること>

- ・防犯カメラの設置については、市のほうで市内公立小中学校の全校に設置予定との事
- ・自治会や親父の会などの力を借りて、防犯パトロールを広範囲で遅い時間に行う
- ・地域の方々とふれあう機会を増やしたい
- ・学校や学校の周りの掃除の回数を増やし、綺麗にし、気持ち良く学校生活を送らせたい

市川市PTA連絡協議会

<特に印象に残った点>

「中学。地域ぐるみの防犯」というテーマで話し合いが始まったのですが、子供の事を真剣に考えて行くと、防犯パトロールはもちろんのこと、「地域行事への参加」「ボランティア活動」「綺麗な町作り」「家庭での教育」「親父の会の協力」など、防犯とは議題がそれで行ってしまいました。「地域ぐるみの防犯」を考える上で、「父親のかかわり」「家庭教育」というものも関わって来て、防犯単体では子供にとって安全な町は作れないものだと実感しました。とても有意義な会議だったと思います。

市川市PTA連絡協議会